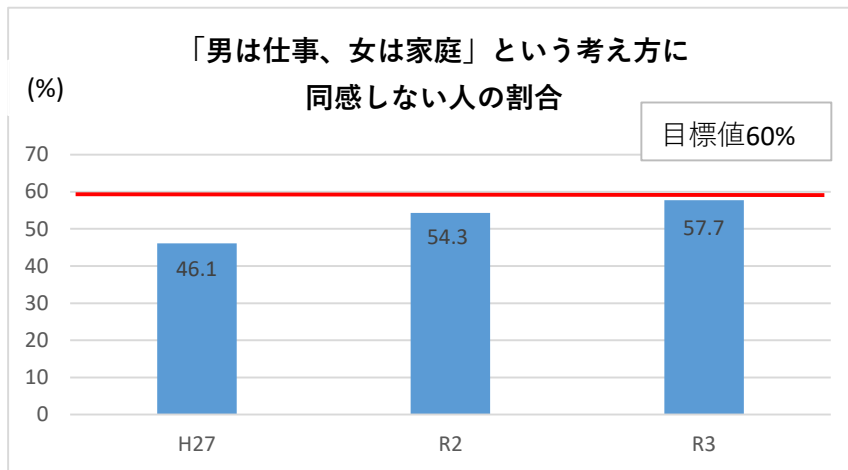


第 3 次北海道男女平等参画基本計画指標見直し案

■指標 1 「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合



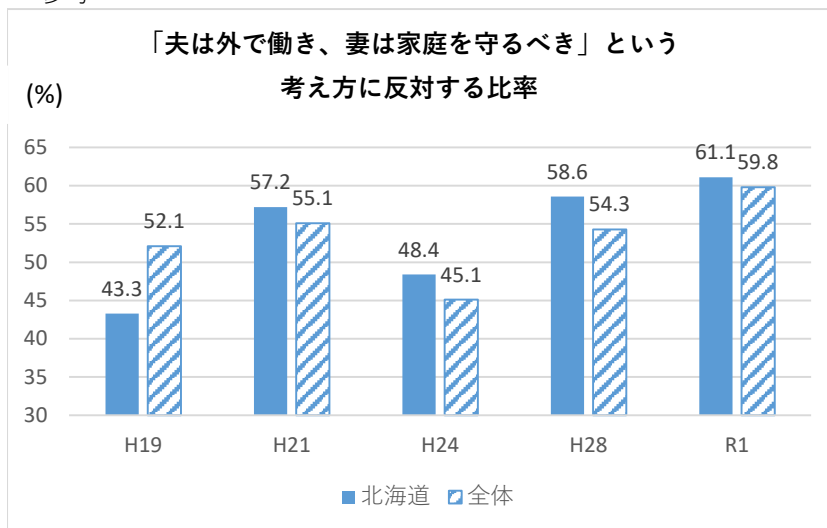
H27	46.1
R2	54.3
R3	57.7

※北海道総合政策部「道民意識調査」

※H27は「道民意識調査」として、R2～は「北海道の人口減少などに関する意識調査」として実施される。

・直近のR3年調査時57.7%。（前年調査から3.4ポイント増加。）

< 参考 >



	北海道	全体
H4	—	34
H9	—	37.8
H14	—	47
H16	—	48.9
H19	43.3	52.1
H21	57.2	55.1
H24	48.4	45.1
H28	58.6	54.3
R1	61.1	59.8

※地域別集計はH19年度調査以降

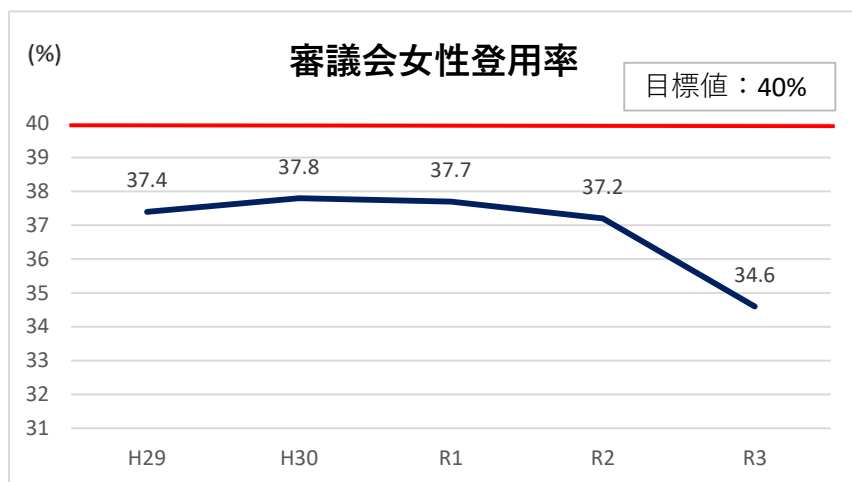
内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」

- ・男女共同参画社会に関する世論調査は不定期に実施される。
- ・H19年以降5回の調査で、概ね増加傾向。
- ・直近のR1年調査時61.1%。（3年前調査から2.5ポイント増加。）

見直しの考え方

- ・指標に係るR3年調査結果(道の意識調査)は、前年から3.4%ポイント増の57.7%であり、R4年に目標値60%が達成される可能性が高い。
- ・内閣府世論調査の同様の設問においても固定的役割意識に反対する比率の増加傾向が見られ、R1年調査では61.1%であった。
- ・計画期間内（R9年度まで）には、65%を超えることが期待されるため、R9年までの目標値を70%に引き上げることを見直し案とする。
- ・なお、当該調査のR4年度数値はR5年2月に公表予定。11月開催時の審議会においては、これまでの実績により見直し案を審議。（速報値情報は10月中に入手できる見込み）

■指標3「道の審議会等における女性委員の登用率」

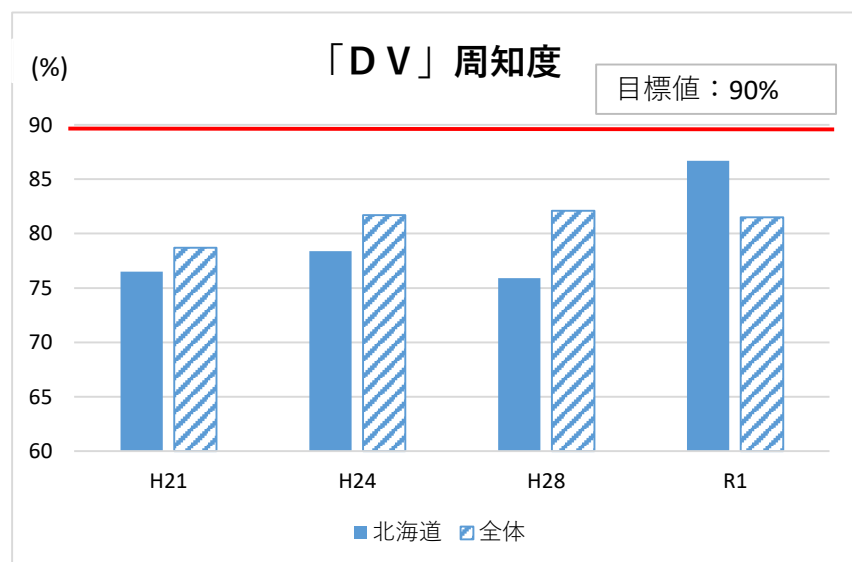


	公表値
H29	37.4
H30	37.8
R1	37.7
R2	37.2
R3	34.6

見直しの考え方

- ・指標に係る実績は横ばい状況で、R4年度中に目標値40%を達成できる可能性は低い。
- ・国の第5次計画における成果目標として、地方公共団体の審議会等委員の女性割合を「40%以上60%以下(2025年)」と設定していることから、引き続き40%を目標値とする。

■指標19「DV周知度」



	北海道	全体
H21	76.5	78.7
H24	78.4	81.7
H28	75.9	82.1
R1	86.7	81.5

※当該設問はH21年度調査以降

内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」

見直しの考え方

- ・直近のR1年調査時86.7%（7年前調査から8.3ポイント増加。）
- ・男女共同参画社会に関する世論調査は不定期実施。11月開催時の審議会においては、これまでの実績により見直し案を審議。
- ・直近の調査において90%に届いていないことから、引き続き90%を目標値とする。